

第一回新型コロナウイルス対策連絡会議 議事メモ(抜粋版)

日 時: 2020年3月3日(火) 12:00-13:30

場 所: 日本野球機構 会議室

出席者:

- ・斉藤 NPB コミッショナー、村井 Jリーグチェアマン
- ・賀来先生、三嶋先生、舘田先生
- ・プロ野球球団関係者、Jクラブ関係者

-----開会挨拶-----

斉藤コミッショナー

- ・斉藤と村井チェアマンが共同議長
- ・情報を共有し、適正な判断を実現する
- ・選手、観客などの安全を守るためにご協力を

村井チェアマン

- ・NPB、12球団、専門の先生方に感謝
- ・まずは知見をいただいて、ここから世の中にしっかり発信していきたい

-----専門家紹介-----

- ・賀来満夫(かくみつお):東北医科薬科大学教授
- ・三嶋廣繁(みかもひろしげ):愛知医科大学大学院教授
- ・舘田一博(たてがかずひろ):東邦大学医学部教授(政府の専門家会議メンバー)

-----賀来(かく)先生-----

パワポ(添付)に沿ってご説明

- ・湖北省と武漢の死亡率がきわめて高い。それ以外の死亡率は高くない
- ・発症者の98%が発熱を伴う、疲労感約70%、痰を伴わない咳が約69%
- ・40代までは致死率が低い。80代では14.8%と高い。持病のある方も高い
- ・中国に入ったWHOチームの解析がはじまっている
- ・感染者の80%は症状が比較的軽い、13.8%が重症
- ・飛沫感染と接触感染が主。空気感染は少ない。1~2mの距離をケアすることが肝要
- ・マスクの効用:かなり防ぐことはできる。感染した方は是非、自分にあったサイズを着用してほしい
- ・手洗いの効用:石鹸と流水で15秒洗うことで50%防げる(しか防げない)。でもすごく大事。

- ・ウイルスが環境内で長生きする → 環境の衛生が大事(消毒液)
- ・多くの人の手が触れる部分をとくに衛生的に
- ・空調管理、換気によってウイルスを希釈する

- ・いま拡大を防ぐことで、ピークを低く留め、時期を遅らせる
- ・クラスター＝たとえば屋形船。
- ・感染した25%が他の人にうつしている(75%の人からはうつっていない)

・マスギャザリングを避けるべき。スタジアムのスタンドはマスギャザリングにあたる

- ・ベンチ、ロッカールームも、感染リスクが高い
 - ・健康管理、環境衛生が重要
 - ：観客をどう守る？
 - ：選手、スタッフ等：常に健康チェック。閉鎖空間での行動(食事を含む)に注意
 - ・今回の難しさは症状が出ない人から感染してしまうステルス型であること
- (12:35)

-----三嶋先生-----

- ・スタンドが接触感染の場にならないように、清掃が重要
- ・ウイルスは1日程度、ゆうに生きていると考えられる
- ・皆さまの質疑を、提言に盛り込んでいきたい

-----館田先生-----

- ・広げないポイントは3点
 - ・まず濃厚接触をいかに減らすか。手の届く範囲は、濃厚接触にあたる
 - ・大きな声を出して話すことを減らす
 - ・閉鎖空間に注意する
- ・ライブハウスが典型的。他方クラシックは黙って聞くという点で、危険度が低い
- ・野球やサッカーの応援は、濃厚接触、大声のリスクがある
- ・閉鎖空間であっても、ドームは閉鎖空間でないが、防げることがある
- ・なんでもやめるのではなく、どうしたらできるかを考えるのが専門家、と考える

-----Q&A-----

※質問者は全てプロ野球球団関係者またはJクラブ関係者

・齊藤： 本日は防疫と、感染者が出た場合の対処など、病気の理解に集中したい。再開に関する議論は、来週月曜に予定する第2回に委ねたい

・質問者： 新幹線や飛行機でチームが移動する際の予防は？

・賀来先生： 電車は乗降時にドアがあくので、完全な閉鎖空間でない。タクシーは、窓開けをおすすめする。チームバスも閉鎖空間にならないよう、換気に留意したい。花粉症ケアとバランスをとりつつ。

・三嶋先生： 移動のバスの中などで、できるだけ話をしないように。新幹線、飛行機などでの移動について、選手の健康管理がしっかりしていれば、選手同士では心配ない。選手の毎日の体温・健康チェックは提言するつもり。選手の健康を確保して、話しを慎んで移動できれば、健康体の移動となる。まず大事なのは選手の健康確保

・質問者： 選手に感染者が、いま出た場合、どのように対応すべきか？

・賀来先生： 家族は濃厚接触にあたる。選手はチームと隔離する。他の選手や現場スタッフの扱いが難しい。検査が受けられる状況では、検査してもらうのがよい。ただPCR検査はウイルスが少ないと陰性がでてしまう（※感染を検出できない）。ゆえに14日間隔離するのが安全。他方、発症してもうつさないケースが75%いる。みんなにうつるような病気ではない。隔離して健康チェックを2週間おこなうのが妥当か

・三嶋先生： 専門家でも意見がわかる。陽性の方、家族の方は隔離。トレーナーは濃厚接触者。だれが濃厚接触者か判定することが大事。地域ごとに相談できる先生をおいて、どなたを隔離するか線をはくようにしてはどうか。また検査も重要。今週半ばには保険の対象となって、検査量が増えていく。各球団・クラブが、検査をお願いできる体制を構築することが大事。

・館田先生： 一人でも陽性になったらチーム全体が機能しなくなる。リーグ戦の継続自体危うくなる。だからあらかじめの対応が必要。しかしチームを管理するのは比較的やりやすい。難しいのは、家庭に帰ったとき、家族が同じように徹底できるか。家庭も含めた全体として、選手の発症を抑えていけるか。難しいが、重要な部分

・賀来先生： 選手が複数でいっしょに食事にいくのも濃厚接触。陽性になった選手と濃厚接触したのがだれか、聞き出すことも求められる

・質問者： 大相撲は力士ひとりでも発症したら場所をとめる決定をした。いまのおはなしとの関連は？

・賀来先生： 大相撲は超濃厚接触。ぶつかり、汗をふくめて。発熱がに2日間続いたら隔離・休場、としている。その際、自分の平熱を知っていることが重要。潜伏期間を考えると、それまでに多くの力士と濃厚接触した可能性がでてくる。そのことを親方衆が考えておられた。さらに食事を含めて、ずっと集団で暮らしている環境でもある

・質問者： 共用ボトルで水を飲むことはよいのか。また練習後の風呂、シャワー。トイレでのケア

・賀来先生： いまは共用しないほうがいい。一人一人分けた方がいい。ビュッフェ形式も、トングでの接触感染が心配。これもいまは避けた方がいい。便器をつかうまえに、座面をアルコールで拭くこと。使用後は蓋を閉めること。閉めないとウイルスが空気中ででてくることもある。シャワーを浴びた後、熱湯(80度)にしてシャワー室にかけてほしい。またみなが手で触る箇所に注意

・三嶋先生： ボトルを分けても、共用の氷につけ込んだら同じ。ペットをわけたら、ずっと分けて動かさないと、あまり意味がない。タンクから紙コップのコップは、使い捨てでむしろ安全。タンクのじゃぐちをアルコール、または次亜塩素酸水でケアしておく。カップはできるだけふたつきのゴミ箱に捨てたい。大便後のアルコール消毒もおすすめしたい。なにより、1日の終わりの清掃手順をきちっとすることが大事

・館田先生： 選手が試合、練習に集中する中で、水ボトルにまで気を遣うのはたいへん。これまでの感染症からみて、そのような行為で伝染するリスクは低い。そこに気をつけるよりも、粘膜を触らない、手洗い励行などを意識づけることが有効なのでは

・賀来先生： 本日配布の手引き。厚生労働省の出している Q&A が役に立つ

・質問者： 陽性確定前の対処。たとえば選手が二日間発熱したときの対処は？

・賀来先生： 2日間発熱したら、まだ新型コロナウイルスに感染したかわからないが、病院にいった方がいい。併せてチーム内で感染させない手だてをとる。病院で、できれば数回、検査をうけてほしい。1回の検査では、ウイルスがいても、陰性がでる可能性がある。検査体制十分でないという問題があるが、検査が陰性でもその3日後再検査するなど、検討してほしい

・三嶋先生： 世の中の検査は急に十分に増えない。(プロチームは)チームとして検査ができる体制を整えたい

・館田先生： 国民の検査が行き届かないなかで、スポーツだけ、という批判はありうる。それでも対応をとるべき緊急事態というべき。具体的な方法は別に議論したい

・質問者： 微熱発生以前の2週間の濃厚接触も、対象とみる？

・賀来先生： 可能性ゼロでないが、そこまでひろげると接触者調査が難しくなる。但し陽性と判定されたら、発熱時点までは遡らざるを得ない。そのために日頃の行動をある程度記録しておきたい

・三嶋先生： 中国では2日前からウイルスを排出していた例があるとされている。しかし専門家の共通認識として、熱発し発症したときがウイルス排出開始。発症後の濃厚接触をチェックするのが常識

・館田先生： 三嶋先生が現実的。また行動を記録しておくことは、おすすめしたい

・質問者： 濃厚接触の基準は？

・賀来： ロッカー、ベンチは危険と考えたい

・三嶋： 基準をきめるのは難しい。しかし球団・クラブ側でできることはある。たとえば食事会場で各人の距離を2mとる、ロッカーに一度に全員いかないなど、球団・クラブが工夫できることはある

・館田： ロッカーでひと言二言の会話ならまあ大丈夫だと思う。しかしできること、例えば話す量を減らす・声の音量を下げる、換気に留意するなど、をしてほしい。

以上

(文責：Jリーグ藤村、編集：JFA 平井)